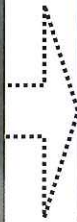


ヒョウモンダコにご注意下さい！

「ヒョウモンダコ」は、その唾液に強力な神経毒であるテトロドトキシンが含まれており、人間でも噛まれると、呼吸困難に繋がる麻痺を起こすとされる危険な水産動物です。

海岸等で見つけた場合は、決して触れないで下さい。



刺激を受けると変化します！

【特徴】

- 体長は 10cm ほどの小型のタコです。他のタコと同様に体色をすばやく変化させることができ、周囲の岩や海藻にカモフラージュしますが、刺激を受けると青い輪や線の模様のある明るい黄色に変化し、この模様がヒョウ柄を思わせることからこの和名がついています。
- 日本からオーストラリアにかけての西太平洋熱帯域・亜熱帯域に分布し、浅い海の岩礁、サンゴ礁、砂礫底に生息します。ところが、2009年になってからは九州北部の福岡県・佐賀県・長崎県・大分県で多く目撃されていることから、警戒を呼び掛けられています。

【お問い合わせ】

天草広域本部農林水産部水産課
指導班担当（宮本 齋藤）

TEL 0969-22-4367

FAX 0969-23-2856